

2010-2011 年度 RI 会長

## レイ・クリンギンスミス

米国ミズーリ州カークスビル

2009-10 年度国際ロータリー会長エレクト  
2005-06 年度ロータリー財団副管理委員長  
2002-06 年度ロータリー財団管理委員  
1985-87 年度国際ロータリー理事  
1975-76 年度地区ガバナー



レイ・クリンギンスミス氏は米国ミズーリ州カークスビルの弁護士で、主に、商法、会社法、不動産法、遺産計画法を専門としています。22 年間勤務したカークスビルのトルーマン州立大学(旧ノースイースト・ミズーリ大学)では、総合弁護士および経営学の教授としての職を最後に 1995 年 8 月に退職しました。大学が一般教養と科学を軸とする教育機関へ移行した 5 年間に、管理学部長を務めた経験もあります。大学の職務を退職後は、2001 年から 2004 年までの 4 年間、アデア郡政委員となりました。

1971 年からメーコン・アトランタ州立銀行の理事、1989 年にミズーリ州議会が設立したミズーリ・ファミリー・トラストの初代管理委員を務めました。シャリトン・バレー障害者協会では 1982 年の設立当初から会長に就任し、1988 年にミズーリ州知的障害者のための計画審議会から保護者・介護者賞を授与されました。ボーイスカウト米国連盟グレートリバー支部の理事を務めた経験もあり、成人ボランティアとしてシルバー・ビーバー賞を受賞しています。カークスビルの統一メソジスト教会に所属しており、教会でもリーダー的役割を任されてきました。

1961 年にロータリアンとなって以来、地区ガバナーを経て、1998 年規定審議会(インド、ニューデリーで開催)ならびに 2008 年ロサンゼルス国際大会委員会の委員長として、RI に奉仕してきました。1985-87 年度に RI 理事となり、1986-87 年度には理事会執行委員会の委員長を務めました。2002 年にはロータリー財団管理委員、2005-06 年度には副委員長、また 2005 年から 2008 年まで未来の夢委員を務めました。また、大口寄付者でもあり、財団の功労表彰状と特別功労賞を受賞しています。

配偶者のジュリー夫人は、メーコンとカークスビルの小学校で教鞭をとっていました。また、カークスビル地域の職業センターで子供の発育を支援するプログラムのコンサルタントも務めていました。クリンギンスミス夫妻にはレイさんとカートさんの 2 人の子供と、モルガンさん、グラントさん、シドニーさんの 3 人の孫がいます。